新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規・拡充項目	主な新規・拡充項目				頁
			令和7年度要求額（千円）	令和7年度最終査定額（千円）		令和7年度要求額（千円）	令和7年度最終査定額（千円）	査定内容	査定の詳細	
都心未来創造部	都心活性化担当	都心活性化推進事業	51,474	47,866	堺東エリア活性化検討業務	10,901	9,790	積算を精査	単価の精査	1
都心未来創造部	SMIプロジェクト推進担当	SMIプロジェクト推進事業	317,887	281,883	自動運転デジタル空間走行検証委託など	41,000	37,657	積算を精査	単価の精査	4
都心未来創造部	堺駅エリア整備担当	環濠都市堺の再生事業	41,759	29,948	大道筋ウォーカブル推進検討支援業務ほか	11,811	0	予算措置なし	事業内容の検討が必要	7
交通部	交通政策担当	路面電車活性化事業	47,655	47,655	阪堺線活性化検討支援業務委託料	15,000	15,000	要求どおり	ー	10
交通部	交通政策担当・公共交通担当	公共交通利用促進事業	558,590	558,590	阪堺電車おでかけ応援事業等負担金	14,735	14,735	要求どおり	ー	13
交通部	公共交通担当	バス運行事業（堺市乗合タクシー運行事業）	67,508	67,508	システム開発委託料	9,838	9,838	要求どおり	ー	15
交通部	公共交通担当	鉄道施設耐震補強事業	8,670	8,670	鉄道施設耐震補強事業補助金	8,670	8,670	要求どおり	ー	18

令和7年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	新規・拡充
一般会計						事務事業分類	G 企画・計画策定・調査研究事業
事務事業名	都心活性化推進事業					事業番号	017-051
担当部署名	建築都市	局	都心未来創造	部	都心活性化担当		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立
			有	取組の方向性	①多様な人が集う魅力的な都市空間の実現		
		寄与するKPI	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）		
			有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑪住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3
			有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	「堺グランドデザイン2040」、「堺市都市計画マスタープラン」、「堺都心未来創造ビジョン」		
3	事業開始年度	平成　24　年度	点検対象年度	令和　7　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	都市再開発法、中心市街地の活性化に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁、堺市中心市街地活性化協議会		
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	堺市民及び市外からの来訪者	対象数	単位
			―	―
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	商業・業務等の都市機能の集積や多様な人が安全・快適に過ごせるウォーカブルな空間の形成を推進し、堺都心部の魅力向上と活性化を図る。		
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	・堺東エリアにおいて、行政、市民、事業者等の公民連携により、都市機能の集積やウォーカブルな空間の形成に向けた検討等を行う。 ・市民や事業者等が行う中心市街地活性化に資する取組を推進する。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託業者、堺市中心市街地活性化協議会		
10	公民連携・協働事業			

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標　点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）	人/日	目標値	43,900	44,100	45,000	45,000
			実績値	40,868（速報値）			
			達成率	93%			
	当該指標を選定した理由	都心部への来訪者のアクセス拠点である堺東駅・堺駅の乗降客数を確認することで、都心部の活性化状況を把握することができるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市基本計画2025において設定しているKPI					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	市民・事業者等との会議等回数	回	目標値	50	50	50	
			実績値	50			
			達成率	100%			
	当該指標を選定した理由	市民や事業者等との会議等回数が増えることで、行政、市民、事業者等と連携した魅力的な取組を推進することができるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	市民・事業者等と打合せした会議等の回数					

令和7年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	都心活性化推進事業	事業番号	017-051

Ⅲ．令和7年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

	項　　目	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	令和7年度 予算要求
13	事業費（a）	43,562	38,073	35,554	44,384	51,474
	財源内訳 国支出金					
	財源内訳 府支出金					
	財源内訳 市債					
	財源内訳 その他（　　）					
	財源内訳 受益者負担金(使用料、手数料等)					
	財源内訳 一般財源	43,562	38,073	35,554	44,384	51,474

事業費の内訳　（単位：千円）

		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	堺東エリア活性化検討業務	R6	予算	19,822	19,822		R6	予算		
			R7	予算	15,950	15,950		R7	予算		
		堺東エリア活性化検討業務【新規】	R6	予算	0	0		R6	予算		
			R7	予算	10,901	10,901		R7	予算		
		堺都心部調査分析業務	R6	予算	1,000	1,000		R6	予算		
			R7	予算	1,000	1,000		R7	予算		
		中心市街地活性化関連業務	R6	予算	23,500	23,500		R6	予算		
			R7	予算	23,500	23,500		R7	予算		
		謝礼金	R6	予算	62	62		R6	予算		
			R7	予算	123	123		R7	予算		

債務負担行為　（単位：千円）

	期間	R　～　R	要求額	
15				

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16	R6まで	・令和6年7月「堺東エリアの市街地整備に向けた基本的な考え方」を公表 ・瓦町公園周辺ゾーン等における市街地更新に向けた検討 ・都心部の活性化に資する取組の推進
	R7	・瓦町公園周辺ゾーンにおける市街地更新に向けた取組の推進 ・堺東駅街区ゾーン等における市街地更新に向けた検討 ・都心部の活性化に資する取組の推進
	R8以降	・堺東駅街区ゾーン等における市街地更新に向けた検討 ・都心部の活性化に資する取組の推進

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	堺東エリアにおける都市機能の強化とウォーカブルな空間の形成に向けた検討及び都心エリアの活性化に資する取組を推進するための予算を要求

都心活性化推進事業

令和7年度予算要求額：51,474千円

（うち新規分：10,901千円）

事業目的

堺都心部において、商業・業務等の都市機能の集積や多様な人が安全・快適に過ごせるウォーカブルな空間の形成を推進し、堺都心部の魅力向上と活性化を図る。

【新規】 堺東エリア活性化検討業務： 10,901千円

■ **背 景**

○「堺都心未来創造ビジョン」において、堺東エリアの活性化に向けた取組の方向性として、訪れる・働く・住む人など多様な目的の人が集い・交流するエリアへ”をコンセプトとし、堺東駅前周辺は、”堺の顔として一新された駅街区では、旅行者や買い物客など多様な人が交流・滞在している”を将来像としている。

○ 令和6年7月に取りまとめた「堺東エリアの市街地整備に向けた基本的な考え方」では、堺東駅街区ゾーンにおいて、南海高野線の連続立体交差化に合わせ、堺の顔としてシンボル性のある駅街区へ更新するとしている。

○ ビジョン等に示す将来像の実現に向けて、南海高野線の連続立体交差化を見据えた堺東駅街区周辺の整備の方向性等を検討する必要がある。

■ **業務内容**

○ ビジョン等に示す将来像の実現に向けて、現状及び課題を整理したうえで、交通事業者等の関係者と協議しながら、駅街区周辺の整備の方向性や、備えるべき機能や必要な空間の配置、利用者動線、周辺市街地との接続等について検討を行う。

令和7年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	新規・拡充
一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	SMIプロジェクト推進事業					事業番号	017-066
担当部署名	建築都市	局	都心未来創造	部	SMIプロジェクト推進担当		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立
			有	取組の方向性	④新たな交通システムの導入		
		寄与するKPI	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）		
			有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑪住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2
			有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	「堺グランドデザイン2040」、「堺都市計画マスタープラン」、「堺都心未来創造ビジョン」、「堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン（案）」、「堺観光戦略」、「堺スマートシティ戦略」、「堺環境戦略」、「堺市移動等円滑化促進方針」、「堺市交通バリアフリー基本構想」、「堺市地域公共交通計画」、「 SMI都心ライン及び関連取組に関する導入計画（案）」		
3	事業開始年度	令和　―　年度	点検対象年度	令和　12　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	「交通政策基本法」、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」、「道路法」、「道路交通法」、「軌道法」、「道路運送法」、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁、民間企業		
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	堺市民及び市外からの来訪者	対象数	単位
			―	―
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	堺都心部における回遊性の向上、堺都心部と美原を結ぶ東西交通問題の改善、脱炭素への寄与などにより、堺都心部の魅力向上と活性化を図る		
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	【SMIプロジェクト（素案）の概要】 取組の方向性：ウォーカブルな都市空間の形成、バリアフリーな都市空間の形成、生活利便性や回遊性を高める情報・サービス連携、公共交通の利用促進と脱炭素化、拠点間ネットワークの構築 【スケジュール】 ＜令和3年度＞　・SMIプロジェクト（素案）の作成・公表 ＜令和4年度＞　・SMIプロジェクトにかかる市民意見募集 ・SMI都心ライン及びSMI美原ラインの実証実験 ＜令和5年度＞　・「SMI都心ライン等推進協議会」及び「SMI都心ライン自動運転技術等検討分科会」の設置・運営 ・都心回遊性向上実証実験 ・SMI美原ライン実証実験		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	民間企業（コンサルタント、バス運行事業者等）		
10	公民連携・協働事業	SMI都心ライン自動運転社会実装推進事業コンソーシアム		

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標　点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和12年度
	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）	人/日	目標値	43,900	44,100	45,000	―
			実績値	40,868（速報値）	―		
			達成率	93%	―		
	当該指標を選定した理由	都心部への来訪者のアクセス拠点である堺東駅・堺駅の乗降客数を確認することで、都心部の活性化状況を把握することができるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市基本計画2025において設定しているKPI					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	SMIプロジェクトの実現に向けた取組の実施（市民意見募集、実証実験など）	回	目標値	5	5	6	
			実績値	6	3		
			達成率	120%	60%		
	当該指標を選定した理由	SMIプロジェクト（素案）公表後、市民意見募集や実証実験などを段階的に進めることで、SMIプロジェクトの実現につながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	来年度予定している取組の件数（実証実験、委託業務など）					

令和7年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	SMIプロジェクト推進事業	事業番号	017-066

Ⅲ．令和7年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

		項　目	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	令和7年度 予算要求
13		事業費（a）	16,511	34,799	49,937	225,809	317,887
	財源内訳	国支出金				160,100	148,716
		府支出金					
		市債					
		その他（　　）					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	16,511	34,799	49,937	65,709	169,171

事業費の内訳　（単位：千円）

		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	SMI都心ライン等推進協議会負担金	R6	予算	466	466	その他	R6	予算	1,543	1,543
			R7	予算	183	183		R7	予算	848	848
		SMI都心ラインにかかる実証実験負担金	R6	予算	128,100	0		R6	予算		
			R7	予算	158,041	19,640		R7	予算		
		SMI美原ライン実証実験負担金	R6	予算	18,000	18,000		R6	予算		
			R7	予算	18,000	18,000		R7	予算		
		SMIプロジェクトに係る実証実験実施支援業務【拡充】	R6	予算	15,500	15,500		R6	予算		
			R7	予算	19,000	19,000		R7	予算		
		ARTステーション・デジタルサイネージ実証実験等【拡充】	R6	予算	62,200	30,200		R6	予算		
			R7	予算	121,815	111,500		R7	予算		

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額		

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16	R6まで	○新たな交通システムの導入に関する検討 ○SMIプロジェクト（素案）を公表、市民意見募集の実施 ○SMI都心ライン等推進協議会の設置 ○SMIプロジェクトにかかる実証実験の実施 ○SMI都心ライン及び関連取組に関する導入計画の策定
	R7	○SMI都心ライン実証実験 ○SMI美原ライン実証実験
	R8以降	○SMI都心ライン及び関連取組に関する導入計画にもとづく整備等 ○SMI美原ラインの本格運行に向けた取組

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	○SMI都心ラインについて、デジタル田園都市国家構想総合戦略に記載されている、無人自動運転サービス100か所以上の実現目標年次である2027年度を見据えた自動運転実証実験や、パークレットの設置による滞留空間の整備やデジタルサイネージによる情報発信機能の強化などに関する実証実験の予算を要求。 ○SMI美原ラインについては、本格運行を見据えた実証実験や検証等に要する予算を要求。

SMIプロジェクト推進事業

令和7年度予算要求額：317,887千円

うち拡充分：41,000千円

背景

〇都市魅力を向上させ堺都心部の活性化が必要。
〇高齢化社会が進展する中、すべての人が快適・便利かつ安全に過ごすことができる都市空間の形成や、バリアフリー化等が必要。
〇人口減少・高齢化の進展に伴う担い手不足に対応し、少ない運転士でも運行サービスの維持・向上が必要。

事業目的

【SMI都心ライン及び関連取組】
〇自動運転等の先進技術や取組により、バリアフリーな環境の構築やバス利便性の向上を図る。また、バス運転士不足への対応及び運行サービスの維持・向上を図る。
〇SMI都心ラインに加え、次世代モビリティなどの関連取組により、便利・快適に移動できる環境の構築を図る。

【SMI美原ライン】
〇南北の方向の鉄軌道を東西に結節し、拠点間ネットワークを構築することで、東西交通が脆弱な本市の課題解決や人流の活性化、公共交通の利用促進などにつなげる。

拡充内容

〇SMI都心ラインの自動運転車両走行時において、実空間では再現が困難な事象を3Dシミュレーション上で検証し、車両にフィードバックすることで、円滑な実走行につなげる。
〇SMI美原ラインについて、過年度の実験結果を踏まえ、本格運行にかかる検討を実施。

令和7年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	新規・拡充
一般会計						事務事業分類	G 企画・計画策定・調査研究事業
事務事業名	環濠都市堺の再生事業					事業番号	017-063
担当部署名	建築都市	局	都心未来創造	部	堺駅エリア整備担当		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立
			有	取組の方向性	①多様な人が集う魅力的な都市空間の実現		
		寄与するKPI	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）		
			有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑾住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3
			有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	「堺グランドデザイン2040」、「堺市都市計画マスタープラン」、「堺都心未来創造ビジョン」		
3	事業開始年度	平成　24　年度	点検対象年度	令和　7　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）			

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁		
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	堺市民、来訪者	対象数	単位
			266	万人
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	環濠エリアにおいて、歴史・文化資源等を活かした都市魅力の向上等により認知度を高め、市民の「愛着」や「誇り」を醸成し、交流人口の増加をめざす。		
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	（堺環濠エリア活性化） 公園や水辺、道路等の公共空間利活用や、元堺消防署暫定利用について、ビジョンや目標を共有した公民多様なプレイヤーとの連携し、またプレイヤーで組織されるエリアプラットフォーム（公民連携組織）の構築に向けて、ワークショップや社会実験等を実施する。 （元堺消防署用地活用事業） 立地特性を活かし、民間活用による交流・賑わい空間の創出に向けて、元堺消防署用地の活用を推進する。 ・令和6年度に公募型サウンディング調査を行い、事業スキームを検討し、活用方針を作成する。 ・令和7年度に活用方針に基づき公募資料作成し、事業者を公募し、令和8年度に事業者を決定する。 （大道筋ウォーカブル推進検討支援業務） 環濠エリアの歴史・文化資源等を結ぶ回遊性向上の取組の一つとして、歩きたくなる心地のよい歩行者空間のあり方の検討、活用を進め、人が中心となり、出会い、交流し、気付き、また訪れたくなる歩行者空間をめざす。令和7年度は下記の業務を実施する。 ・大道筋において自転車歩行者道での滞留空間設置等の社会実験 ・沿道事業者等を対象とした、社会実験に向けた勉強会		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託業者、協議会負担金		
10	公民連携・協働事業			

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標　点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	まち歩きイベント等への参加者数	人	目標値	150	750	850	850
			実績値	388	750		
			達成率	259%	100%		
	当該指標を選定した理由	環濠エリアへの来訪者数を増やすため					
	目標値の設定根拠・算出方法	まち歩きイベントへの参加者数やウォークラリーイベントの賞品プレゼントへの応募者数等					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	Instagramで発信した情報の「延べリーチ数」	人	目標値	60,000	105,000	115,000	
			実績値	1,447,945	105,000		
			達成率	2413%	100%		
	当該指標を選定した理由	環濠の認知度を高めるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	「環濠茶論」公式Instagramのデータより算出					

令和7年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	環濠都市堺の再生事業	事業番号	017-063

Ⅲ．令和7年度予算要求額

事業コスト

（単位：千円）

	項　　目	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	令和7年度 予算要求
	事業費（a）	3,000	10,483	11,824	25,272	41,759
13	財源内訳 国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（　　）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	3,000	10,483	11,824	25,272	41,759

事業費の内訳

（単位：千円）

		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	付属機関委員報酬・謝礼金	R6	予算	123	123	堺環濠エリア活性化推進検討支援業務	R6	予算	10,000	10,000
			R7	予算	41	41		R7	予算	7,648	7,648
		旅費	R6	予算	98	98	堺消防署用地活用事業に係る事業者公募等支援業務	R6	予算	11,231	11,231
			R7	予算	98	98		R7	予算	12,100	12,100
		印刷製本費・消耗品費	R6	予算	9	9	大道筋ウォーカブル推進検討支援業務ほか【拡充】	R6	予算	0	0
			R7	予算	186	186		R7	予算	11,811	11,811
		光熱水費・修繕料	R6	予算	891	891	元堺消防署機械警備業務・清掃業務ほか委託料	R6	予算	920	920
			R7	予算	2,465	2,465		R7	予算	4,155	4,155
		不動産鑑定手数料・施設損害賠償保険料	R6	予算	0	0	協議会負担金	R6	予算	2,000	2,000
			R7	予算	1,255	1,255		R7	予算	2,000	2,000

債務負担行為

（単位：千円）

	期間	R7 ～ R8	要求額	10,000

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16	R6まで	（堺環濠エリア活性化）エリアプラットフォーム構成員（堺環濠まちづくり推進協議会、企業等）の発掘およびワークショップの実施 （元堺消防署用地活用事業）活用方針の検討
	R7	（堺環濠エリア活性化）エリアプラットフォーム構成員（堺環濠まちづくり推進協議会、企業等）の発掘およびワークショップの実施 （元堺消防署用地活用事業）事業者公募の準備、公募 （大道筋ウォーカブル推進検討支援業務）社会実験、勉強会の実施
	R8以降	（堺環濠エリア活性化）エリアプラットフォーム（公民連携組織）の設立および運用開始 （元堺消防署用地活用事業）事業者決定および運営開始 （大道筋ウォーカブル推進検討支援業務）ビジョンの作成、歩行者空間の活用

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	（堺環濠エリア活性化） 公民多様なプレイヤーで組織されるエリアプラットフォーム（公民連携組織）の構築に向けて、元堺消防署暫定利用におけるワークショップや社会実験を実施する。 また、堺環濠町づくり推進協議会（環濠茶論）においては、環濠-CANGO-橋わたしフェスを通じて、より企業・店舗・団体等の連携促進を進める。 （元堺消防署用地活用事業） 立地特性を活かし、多様な人々が集い交流し賑わう空間の創出に向けて、公募資料を作成し、事業者を公募する。 （大道筋ウォーカブル推進検討支援業務） 上記の堺環濠エリア活性化のこれまでの取組により、沿道事業者や住民の機運が徐々に醸成されつつある状況であり、人中心のウォーカブルな空間形成に向け、取組を一段階深めていくために、大道筋での社会実験と勉強会を実施する。

環濠都市堺の再生事業

事業目的

令和7年度予算要求額：41,759千円

環濠エリアにおいて、歴史・文化資源等を活かした都市魅力の向上等により認知度を高め、市民の「愛着」や「誇り」を醸成し、交流人口の増加をめざす。

拡充 **大道筋ウォーカブル推進検討支援業務ほか：11,811千円**

背景

・「堺市基本計画2025」では、環濠エリアの取組の方向性として「人中心のウォーカブルな空間を公民連携で形成し、まち歩きを促進するなど、都市の賑わいや交流の場を創出する。」としている。また、「堺都心未来創造ビジョン」では、環濠エリアの取組として大道筋における豊かな歩行空間の形成を位置付けている。
・環濠エリアの歴史・文化資源等を結ぶ回遊性向上の取組の一つとして、歩きたくなる心地のよい歩行者空間のあり方の検討、活用を進め、人が中心となり、出会い、交流し、気付き、また訪れたくなる歩行者空間をめざす。
・歩きたくなる心地のよい歩行者空間をめざすにあたっては、大道筋と沿道施設等が一体となった賑わい・滞在空間を創出し、また行政のみならず沿道事業者や住民との連携が重要である。

業務内容

「沿道事業者や住民の本取組への理解・機運醸成」、「歩きたくなる心地のよい歩行者空間の将来像（ビジョン）の作成」に向け、令和7年度は下記の業務を実施する。
・大道筋において自転車歩行者道での滞留空間設置等の社会実験
・沿道事業者等を対象とした、社会実験に向けた勉強会

令和7年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	新規・拡充
一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	路面電車活性化事業					事業番号	017-013
担当部署名	建築都市	局	交通	部	交通政策担当		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
			有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保			
		寄与するKPI	有・無	指標名	―			
			無	現状値	―	目標値	―	
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑪住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2	
			有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
		寄与するKPI	有・無	指標名	―			
			無	現状値	―	目標値	―	

2	関連計画	堺市地域公共交通計画		
3	事業開始年度	平成　16　年度	点検対象年度	令和　7　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱 堺市鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金交付要綱・堺市路面電車施設高度化事業費補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁		
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	阪堺線沿線住民や通勤・通学者、来街者などの阪堺線利用者。7,172,038人（令和5年度年間利用推計者数）	対象数 7,172,038	単位 人
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	阪堺線堺市内区間の軌道施設の改修等が実施されることにより、保安度の向上を図る。 設備の高度化を促すことにより、利用者の利便性向上を図り、阪堺線利用者数の増加を図る。		
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	阪堺電気軌道（株）に対し、阪堺線の軌道施設の改修や施設の高度化等のための経費を補助する。 ・堺市鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金（軌道・車両の装置の更新、車両検査） ・路面電車施設高度化事業費補助金（第4種踏切の第1種化、堺トラム車内灯及び踏切照明のLED化、停留場の美装化及び駅名標更新） 速達性の向上、交通モード間の連携、停留場環境の向上、バリアフリーの推進、施設・車両の更新、情報発信等、利便性及び安全性の向上、利用者の拡大にかかる検討を実施し、阪堺線の活用による面的な移動環境の形成を図る。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	―		
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	阪堺電気軌道株式会社、建設コンサルタント会社等		
10	公民連携・協働事業	―		

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和5年度	実績見込み 令和6年度	目標 令和7年度	目標　点検対象年度 令和7年度
	阪堺線・上町線の年間利用推計者数	人	目標値	7,382,107	7,382,107	7,382,107	7,382,107
			実績値	7,172,038	7,378,351		
			達成率	97%	100%		
	当該指標を選定した理由	当事業の目的である「阪堺線利用者数の増加」を成果指標とする					
	目標値の設定根拠・算出方法	新型コロナ拡大前の最大値であるH30年度比でR4～R7年度は90%とする。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和5年度	実績見込み 令和6年度	目標 令和7年度	
	老朽化対策実施箇所	か所	目標値	2	1	1	
			実績値	2	1		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	老朽化対策を実施することで安全安心な路線が確保されることにより、保安度の向上を図るため					
	目標値の設定根拠・算出方法	要対策箇所より設定					

令和7年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	路面電車活性化事業	事業番号	017-013

Ⅲ．令和7年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

	項　　目		令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	令和7年度 予算要求
13	事業費 (a)		47,319	15,239	24,931	24,496	47,655
	財源内訳	国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他（　　寄附金・基金　　）		999	1,040	3,000	3,184
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	47,319	14,240	23,891	21,496	44,471

事業費の内訳　（単位：千円）

		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金	R6	予算	21,386	21,386		R6	予算		
			R7	予算	15,771	15,771		R7	予算		
		路面電車施設高度化事業費補助金	R6	予算	3,000	0		R6	予算		
			R7	予算	16,784	13,600		R7	予算		
		阪堺線活性化検討支援業務委託料【新規】	R6	予算	0	0		R6	予算		
			R7	予算	15,000	15,000		R7	予算		
		廃棄物処理・運搬等委託料	R6	予算	100	100		R6	予算		
			R7	予算	100	100		R7	予算		
		保険料	R6	予算	10	10		R6	予算		
			R7	予算	0	0		R7	予算		

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16	R6まで	・阪堺線支援策の実施（平成22年10月～令和2年9月）：低床式車両導入、停留場新設、停留場改修、軌道改修等 ・支援策完了後（令和2年10月～）：軌道改修・低床式車両改修等への補助を引き続き実施
	R7	・軌道改修・車両設備更新等への補助 ・第4種踏切の第1種化、堺トラム車内灯及び踏切照明のLED化、停留場の美装化及び駅名標更新 ・利便性及び安全性の向上、利用者の拡大にかかる検討
	R8以降	・軌道改修等への補助、計画的に導入する旧型車両から低床式車両への入れ替えに対する補助を実施 ・利便性及び安全性の向上、利用者の拡大にかかる詳細検討、実施

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	・老朽化対策として鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金による軌道・車両の装置の更新、車両検査に要する費用（国との協調補助）を要求する。 ・施設の高度化として路面電車施設高度化事業費補助金による車内灯LED化と停留場美装化及び駅名標更新（上記全ては公共交通活性化促進基金を活用）、第4種踏切の第1種化、踏切照明のLED化に要する費用を要求する。 ・速達性の向上、交通モード間の連携、停留場環境の向上、バリアフリーの推進、施設・車両の更新、情報発信等、利便性及び安全性の向上、利用者の拡大にかかる検討に要する費用を要求する。

阪堺線活性化検討支援業務

■背景

令和7年度予算要求額：15,000千円

- 堺都心部の中心を南北に貫く阪堺線は、堺・大阪の両市を結ぶ重要な移動手段である。
- また、阪堺線は110 年以上の歴史を有する大阪に残る唯一の路面電車として、本市の重要な地域資源であり、沿線にはさかい利晶の杜、堺伝匠館、堺鉄炮鍛冶屋敷などの多くの施設が立地している。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機とした人流の変化等により、輸送人員はコロナ禍前の水準までの回復はみられない状況にある。
- 阪堺線の活性化に向けて、これまでの取組に加え、さらなる利用者の利便性や安全性の向上、利用者拡大の取組や、新たな需要の創出をもたらす取組を検討する必要がある。

■事業内容

- 速達性の向上、交通モード間の連携、停留場環境の向上、バリアフリーの推進、施設・車両の更新、情報発信等、利便性及び安全性の向上、利用者の拡大にかかる検討を実施し、阪堺線の活用による面的な移動環境の形成を図る。

石津北停留場（平成27年新設開業）

宿院停留場（平成27年大規模改修）

令和7年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	新規・拡充
一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	公共交通利用促進事業					事業番号	017-018
担当部署名	建築都市	局	交通	部	交通政策担当・公共交通担当		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
			有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保			
		寄与するKPI	有・無	指標名	―			
			無	現状値	―	目標値	―	
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑾住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2	
			有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
		寄与するKPI	有・無	指標名	―			
			無	現状値	―	目標値	―	

2	関連計画	―		
3	事業開始年度	平成　4　年度	点検対象年度	令和　7　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	堺市おでかけ応援利用者証条例／堺市おでかけ応援利用者証条例施行規則／堺市バス利用促進総合対策事業補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁		
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	市民（路面公共交通利用者） ※対象者数：おでかけ応援制度対象者数（65歳以上の堺市民）	対象数 230,129	単位 人
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	バスや阪堺電車等の利用促進や利便性向上につながる取組を実施することにより、路面公共交通の維持・活性化を図ることを目的とする		
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	1．おでかけ応援制度 ・満65歳以上の市民が市内の路線バスや阪堺電車を1乗車100円で利用できるおでかけ応援制度を実施 2．バス利用促進等総合対策事業 ・バス事業者が行うノンステップバスの導入など、公共交通の利便性の向上や利用促進につながる取組に対して補助を実施 3．ゾーンチケット事業・周知広報事業 ・南海バス、阪堺電車が利用できる「堺おもてなしチケット」の発行、周知広報等を実施		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	―		
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	南海バス株式会社、近鉄バス株式会社、阪堺電気軌道株式会社		
10	公民連携・協働事業	民間路面公共交通事業者と共同事業として実施		

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和5年度	実績見込み 令和6年度	目標 令和7年度	目標　点検対象年度 令和7年度
	おでかけ応援制度の延べ年間利用者数	人	目標値	5,563,000	5,563,000	6,181,000	6,181,000
			実績値	5,291,274	5,334,401		
			達成率	95%	96%		
	当該指標を選定した理由	延べ利用者数が高齢者の路面公共交通の利用状況を把握できることから成果指標とする					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和6年度は新型コロナ拡大前の令和元年度実績の9割、点検年度は令和元年度実績と同水準とする					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和5年度	実績見込み 令和6年度	目標 令和7年度	
	おでかけ応援カード保有率	%	目標値	71	72	74	
			実績値	72	73		
			達成率	101%	101%		
	当該指標を選定した理由	制度目的（公共交通の利用促進及び維持・活性化、高齢者の社会参加の促進）の実現につながるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	（前年度3月末時点のおでかけ応援カードの保有者数）÷（前年度3月末時点の65歳以上の人口）					

令和7年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	公共交通利用促進事業	事業番号	017-018

Ⅲ．令和7年度予算要求額

事業コスト

（単位：千円）

	項　　目		令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	令和7年度 予算要求
13	事業費（a）		487,514	504,097	515,499	569,886	558,590
	財源内訳	国支出金	68,379	49,007	41,605		18,035
		府支出金					
		市債					
		その他（　　）					
		受益者負担金(使用料、手数料等)	7,596	8,463	8,878	9,876	9,723
		一般財源	411,539	446,627	465,016	560,010	530,832

事業費の内訳

（単位：千円）

		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	おでかけ応援制度等負担金【拡充】	R6	予算	538,520	538,520	バス利用促進等総合対策事業補助金	R6	予算	10,875	10,875
			R7	予算	523,995	509,260		R7	予算	11,225	11,225
		おでかけ応援カード発行等委託料	R6	予算	11,427	4,271	印刷製本費	R6	予算	459	459
			R7	予算	10,779	3,513		R7	予算	429	429
		おでかけ応援ICカード申請書印刷発送準備等委託料	R6	予算	1,750	1,750		R6	予算		
			R7	予算	1,750	1,750		R7	予算		
		おでかけ応援ICカード管理システム運用保守等委託料（IT経費）	R6	予算	1,760	1,760		R6	予算		
			R7	予算	4,510	1,210		R7	予算		
		通信運搬費	R6	予算	5,095	2,375		R6	予算		
			R7	予算	5,902	3,445		R7	予算		

債務負担行為

（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16	R6まで	・おでかけ応援制度の継続実施 ・ノンステップバスの導入補助の継続実施
	R7	・おでかけ応援制度の継続実施 ・ノンステップバスの導入補助の継続実施
	R8以降	・おでかけ応援制度の継続実施 ・ノンステップバスの導入補助の継続実施

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	・おでかけ応援制度及びゾーンチケット事業等に対する負担金見込み額等を要求 ・国主導で進められている地方公共団体情報システムの標準化の対応に要する経費を要求（デジタル基盤改革支援補助金を充当） ・バス事業者のノンステップバス導入に対する補助見込み額を要求

令和7年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	その他
一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	バス運行事業（堺市乗合タクシー運行事業）					事業番号	017-022
担当部署名	建築都市	局	交通	部	公共交通担当		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築
			有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保		
		寄与するKPI	有・無	指標名	－		
			無	現状値	―	目標値	―
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑪住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2
			有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
		寄与するKPI	有・無	指標名	－		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	堺市地域公共交通計画		
3	事業開始年度	平成　25　年度	点検対象年度	令和　7　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	堺市乗合タクシー運行事業実施要綱、堺市乗合タクシー運行事業実施要領		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁		
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	鉄道駅やバス停から離れた地域の住民ほか（令和7年度延べ年間利用者数目標値）	対象数	単位
			29,000	人
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	鉄道駅やバス停から離れた地域の方の日常生活に必要な移動手段を確保することを目的に運行		
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	鉄道駅やバス停から離れた地域と鉄道駅等を結ぶ市内9ルートにおいて、あらかじめ決められた運行ルート、停留所、時刻表に沿って、利用者から予約があった場合にのみ運行する。運行日は毎日。運行頻度は一日5便。運賃は大人300円、小人150円、おでかけ応援カード利用者は100円		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	－		
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	大阪第一交通株式会社		
10	公民連携・協働事業	－		

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標　点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	年間延べ利用者数	人	目標値	25,000	27,000	29,000	29,000
			実績値	26,549	28,644		
			達成率	106%	106%		
	当該指標を選定した理由	鉄道駅やバス停から離れた地域の方の移動手段の確保を目的としているため、利用者数を成果指標とする。					
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績と同水準					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	運行ルート数の維持数	ルート	目標値	9	9	9	
			実績値	9	9		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	運行ルート数の維持により、鉄道駅やバス停から離れた地域の方の移動手段の確保に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	現行の運行ルートの維持確保					

令和7年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	バス運行事業（堺市乗合タクシー運行事業）	事業番号	017-022

Ⅲ．令和7年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

	項　　目	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	令和7年度 予算要求
	事業費（a）	39,317	44,264	47,752	53,258	67,508
13	財源内訳 国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（　　）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	39,317	44,264	47,752	53,258	67,508

事業費の内訳　（単位：千円）

		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	運行委託料	R6	予算	52,807	52,807	システム開発委託料【新規】	R6	予算	0	0
			R7	予算	55,086	55,086		R7	予算	9,497	9,497
		印刷製本費	R6	予算	19	19	タブレット賃借料【新規】	R6	予算	0	0
			R7	予算	1,170	1,170		R7	予算	341	341
		消耗品費	R6	予算	137	137	謝礼金	R6	予算	0	0
			R7	予算	137	137		R7	予算	82	82
		停留所関連工事	R6	予算	121	121	資料作成支援業務委託料	R6	予算	0	0
			R7	予算	121	121		R7	予算	900	900
		停留所標柱運搬委託料	R6	予算	174	174					
			R7	予算	174	174					

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R7 ～ R10	要求額	219,000

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16	R6まで	・平成25年度3月～平成27年度　実証運行 ・平成28年度～　本格運行
	R7	・乗合タクシーの継続運行 ・システム開発業務の業者選定、契約締結、システム開発 ・次期運行業務の業者選定、契約締結
	R8以降	・次期契約の運行開始

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	・運行委託料として運行経費から運賃収入を差し引いた見込み額等を要求 ・R7年度の新規項目として、予約方法の改善や事務作業の効率化に向けたシステム開発に伴う委託料等を要求 ・債務負担行為（R7～R10）で次期運行業務にかかる見込み額を要求

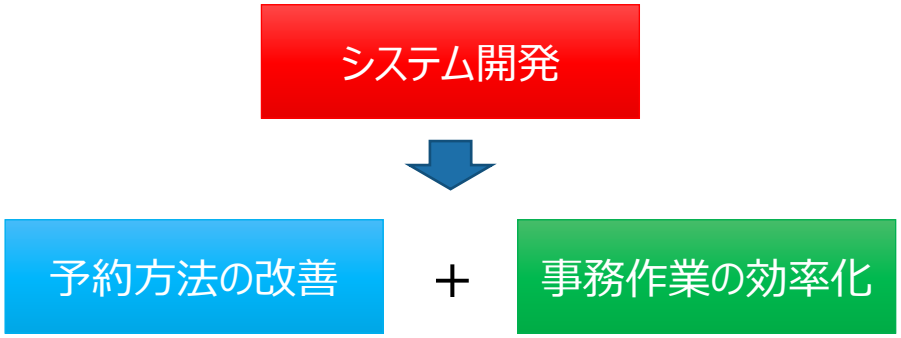
堺市乗合タクシー運行事業（新規拡充）

■背景

- 本市では、鉄道駅やバス停から離れた地域の方の日常生活に必要な移動手段を確保することを目的に堺市乗合タクシーを運行している。
- 市内9ルートにおいて、あらかじめ決められた運行ルートや停留所、時刻表に沿って、利用者から予約があった便及び停留所のみ運行する方式としている。
- 現在、利用者より予約方法に関するご要望が寄せられており、市民ニーズへの対応が求められている。
- また、堺市乗合タクシーの委託事業者による予約受付や配車等の事務は現在、紙面への手書き・手作業によるアナログ管理で行われており、利用者が増加する中、時間と労力を要し、非効率な運用となっている。

■新規拡充内容

- 堺市乗合タクシーの予約方法の改善や予約受付・配車に関する事務作業の効率化等のため、予約配車システムを開発する。



令和7年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	新規・拡充
一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	鉄道施設耐震補強事業					事業番号	017-069
担当部署名	建築都市局	局	交通	部	公共交通担当		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上
			有	取組の方向性	②都市インフラの耐震化の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	－		
			無	現状値	―	目標値	―
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑾住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.5,11.b
			有	取組	住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	－		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	堺市地域公共交通計画		
3	事業開始年度	令和　7　年度	点検対象年度	令和　7　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する省令		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁		
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	市民・鉄道利用者（補助対象事業者の堺市内鉄道駅のR4年度一日平均利用者数）	対象数	単位
			466,568	人
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する省令に基づき、今後、発生が予想される大規模地震による鉄道施設の被害の未然防止や拡大防止のための耐震補強を行う必要があり、補強に要する経費の一部を補助することにより、鉄道施設の耐震化を推進し、列車の安全運行や鉄道利用者の安全確保、緊急交通路の維持等を図る。		
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	鉄道事業者が実施する緊急交通路と交差又は並走する線区における高架橋の耐震補強等に要する経費の一部を補助することにより、鉄道施設の耐震化を推進する。 【補助対象事業者】鉄道事業者 【補助対象事業】高架橋の耐震補強、落橋防止対策等 【補助率】補助対象経費に1/6を乗じて得た額以内		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	－		
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	泉北高速鉄道株式会社		
10	公民連携・協働事業	－		

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標　点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	鉄道耐震補強箇所数	箇所	目標値	0	0	8	8
			実績値	0	0		
			達成率	－	－		
	当該指標を選定した理由	列車の安全運行や鉄道利用者の安全確保、緊急交通路の維持等が図られる為、補強工事が完了した箇所数を成果指標とする					
	目標値の設定根拠・算出方法	耐震補強箇所数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	鉄道耐震補強補助実施件数	件	目標値	0	0	1	
			実績値	0	0		
			達成率	－	－		
	当該指標を選定した理由	補助を実施することにより耐震化が推進される					
	目標値の設定根拠・算出方法	補助予定件数					

令和7年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	鉄道施設耐震補強事業	事業番号	017-069

Ⅲ．令和7年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

	項　目		令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	令和7年度 予算要求
13	事業費（a）		0	0	0	0	8,670
	財源内訳	国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他（　　）					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源					8,670

事業費の内訳　（単位：千円）

		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	鉄道施設耐震補強事業補助金【新規】	R6	予算	0	0		R6	予算		
			R7	予算	8,670	8,670		R7	予算		
			R6	予算				R6	予算		
			R7	予算				R7	予算		
			R6	予算				R6	予算		
			R7	予算				R7	予算		
			R6	予算				R6	予算		
			R7	予算				R7	予算		
			R6	予算				R6	予算		
			R7	予算				R7	予算		

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16		
	R6まで	－
	R7	高架橋（泉北高速鉄道株式会社）の耐震補強工事
	R8以降	高架橋の耐震補強工事

Ⅴ．要求のポイント

17		
	要求のポイント	泉北高速鉄道株式会社が行う高架橋の耐震補強工事に対する補助見込み額を要求

鉄道施設耐震補強事業

■事業目的

特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する省令に基づき、今後、発生が予想される大規模地震による鉄道施設の被害の未然防止や拡大防止のための耐震補強を行う必要があり、補強に要する経費の一部を補助することにより、鉄道施設の耐震化を推進し、列車の安全運行や鉄道利用者の安全確保、緊急交通路の維持等を図る。

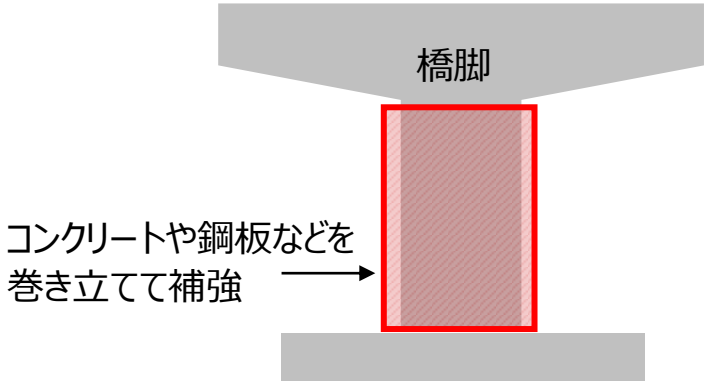
■事業内容

鉄道事業者が実施する緊急交通路と交差又は並走する線区における高架橋の耐震補強等に要する経費の一部を補助することにより、鉄道施設の耐震化を推進する。

【補助対象事業者】
鉄道事業者

【補助対象事業】
高架橋の耐震補強、落橋防止対策等

【補助率】
補助対象経費に1/6を乗じて得た額以内



耐震補強の例